

「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る研修計画書

【1. 機関・団体概要】

機関・団体名	調布市こころの健康支援センター
機関・団体代表者 (役職・氏名)	小山 伸子 (センター長)
所在地	〒182-0024 東京都調布市布田5-46-1
電話番号	042-490-8177
FAX番号	042-490-8167
メールアドレス 本研修担当者	<a href="mailto:kokoro@ccsw.or.jp">kokoro@ccsw.or.jp</a> 担当者名：内海康範
HPアドレス	<a href="http://www.csw.or.jp">http://www.csw.or.jp</a>
研修実施場所 (所在地と異なる場合のみ記載)	〒
設立目的 (概要で可)	こころの病や精神障害、発達障害がある方の自立と社会参加の支援、市民の精神保健福祉の向上
職員数	全職員数 25名 (常勤 21名 / 非常勤 4名)
機関・団体におけるアウトリーチの特徴や特色を記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>●精神保健福祉の枠組みとスキルを活用して、幅広いこころの課題に取り組んでいます。埋もれていたニーズの掘り起こしや医療・福祉につながらない無支援の方々を支援につなげています。</li> <li>●国の制度と独自事業を組み合わせ、ご本人状況に合わせた訪問支援を行っています。</li> </ul>
機関・団体で運営している相談・支援機関名	担当部署 (精神保健福祉相談、障害者就労支援事業、発達障害者支援事業、ひきこもり相談、指定特定相談)
例 (●●サポートステーション)	支援事業所) 法人全体 (地域福祉権利擁護事業、障害者相談支援事業、生活福祉資金貸付相談、生活困窮者支援事業)
(●●ひきこもり地域支援センター)	

## 【2. 平成26年度中のアウトリーチの実績概要】（訪問件数、対象、支援方法等を簡条書きで記載）

- 訪問件数（同行含む）・・・277件（H25年4月～H26年2月まで）
- 対象・・・・・・・・・・18才～65才までの市民
- 支援方法・・・
  - 1 「こころの相談支援事業」による担当職員との関係づくりや生活状況・安否の確認、公的機関や病院への同行支援。  
\*心の不調やひきこもりなど社会に適応できない状態にある市民対象
  - 2 「指定特定相談支援事業」によるケアマネージメント訪問  
\*障害者サービスを利用する市民対象
  - 3 「生活訓練事業」による担当職員との関係づくりや訪問・同行支援  
\*障害者サービス受給者証をとれる市民対象
- 社会の中に所属する場所がなく、外に出にくい方々が支援につながるように、担当職員との関係づくりから初めて、その方のペースに合わせて世界を広げていきます。
- 訪問看護、訪問介護、地域包括支援センター、保健所、市役所、社会福祉協議会地域事業と連携しています。

## 【3. 過去3年間における国又は地方公共団体の委託事業や自主事業等】

（委託事業・自主事業名等やその概要について簡条書きで記載）

調布市社会福祉協議会定款第2条の規定に基づく基本事業》

- (1) 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- (2) 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- (3) 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- (4) (1)から(3)のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業
- (5) 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡
- (6) 共同募金事業への協力
- (7) 緊急援護資金の貸付
- (8) 生活福祉資金貸付等相談事業
- (9) 心配ごと相談事業
- (10) 福祉サービス利用援助事業の経営
- (11) 障害福祉サービス事業の経営
- (12) 老人デイサービス事業の経営
- (13) 老人福祉センターの経営
- (14) 身体障害者福祉センターの経営
- (15) 一般相談支援事業の経営
- (16) 特定相談支援事業の経営
- (17) 障害児相談支援事業の経営
- (18) 障害児通所支援事業の経営

(19) 生活困窮者支援事業の経営

(20) その他この法人の目的達成のため必要な事業

《調布市社会福祉協議会定款第31条の規定に基づく事業》

(1) 調布市総合福祉センターの経営

(2) 市民活動支援センターの経営

(3) 障害者（児）居宅介護従業者養成研修事業

(4) 調布市こころの健康支援センターの経営

(5) 調布市福祉人材育成センターの経営

《調布市社会福祉協議会定款第33条の規定に基づく事業》

(1) 収益事業 自動販売機の設置

#### 【4. 過去2年間における子ども・若者の支援に係る研修実績】

(他機関・団体職員の研修受入を行った実施概要<研修概要、他機関・団体名、期間、人数>を箇条書きで記載)

H25 年度

① ・「発達障害の理解と支援を求めて ～成人した当事者の立場から～」

講師 NPO法人東京都自閉症協会 片岡聡氏 来場者数 129人（市民）

・「発達障害者支援について」講師NPO法人東京都自閉症協会 片岡聡氏

来場者数 50人（調布精神保健福祉ネットワーク連絡会加入19団体職員）

② 心理相談・検査（10回）臨床心理士

③ 事例検討会（市役所障害福祉課 12名 多摩府中保健所8名 東京都医学研究所）

H26 年度

① 「発達障害の理解」

講師 NPO法人日本自閉症協会会長 山崎晃資博士 来場者数 97人

② 「精神障害、発達障害のある方が企業で働くために」

講師 企業担当者と当事者のパネルディスカッション 来場者数 141人

③ 心理相談・検査（10回）臨床心理士

④ 事例検討会（市役所障害福祉課 多摩府中保健所 東京都医学研究所 社会福祉協議会地域福祉推進課・調布市希望の家）

#### 【5. 「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る担当者、受入条件、研修内容等】

	「アウトリーチ研修」実施上の役割（職名）	氏名	・関連保有資格 ・アウトリーチの経験年数
1	センター長	小山伸子	社会福祉士・精神保健福祉士 5年
2	生活支援係長	内海康範	社会福祉士・精神保健福祉士 2年

	受 入 条 件
受入可能な日程 (平成 27 年 9 月 28 日 ～ 平成 27 年 1 月 16 日の間)	平成 27 年 9 月 28 日～平成 27 年 1 月 16 日の間で研修生の希望とプログラムにより調整
受入可能な人数 (原則年間 4 名を 上限とする)	2 人まで
保有資格の要否、 その他の受入条件	なし
研修期間中にアウトリ ーチを行う予定回数	1 人 2 回程度

	研 修 内 容
	※下記の「初日」～「最終日」までの内容は過去に実施した実地研修を参考とした 予定となり、同行訪問やプログラム等の参加・開催に併せて随時変更となります。
研修全体の概要	継続相談者数 320 人、デイ事業登録者数 120 人、就労支援登録者数 100 人と利用者数が多く、プログラムも多様なため、研修生のご希望にあわせて体 験内容を調整します。
初日	事業のレクチャー
2 日目	生活訓練事業グループワーク① (5 グループのうちの 2 グループを体験) グループワーク② (10 種類のうちの 1～3 種類を体験)
3 日目	訪問 1、2 回 デイ事業選択制プログラム 13 種類のうち 1～3 種類体験 デイ事業デイルーム体験
4 日目	SST またはステップアッププログラムまたは家族学習会または当事者茶話会 または当事者ミーティングまたは就労ミーティングのいずれかを体験

最終日	地域連携、講演会、就労プログラムなど 反省会
研修内容の配分	講義 1・利用者対応 4・家族支援 1・地域連携または講演会 1・訪問同行 2 事例検討会 1
研修生の宿泊について	
備考欄	